

# 平成25年版 災害復旧工事の設計要領

B 5 判 1,146頁 上製本 \* 頒価6,400円（消費税込み）送料協会負担

「災害復旧工事の設計要領」（通称「赤本」）は、昭和32年に初版を発行して以来、平成25年版で57版を数えることになります。

その間には、請負工事への転換、機械施工の進展、新工法・新技術の開発、電算化、施工パッケージ型積算方式への移行等、社会情勢の変化とともにその都度内容の改正を行ってまいりました。

災害復旧事業は、被災後速やかに復旧することが事業に携わる者の使命であり、このためには、災害査定設計書を迅速かつ適確に作成する必要があります。

災害査定用歩掛は、文字通り災害査定設計書を作成するための歩掛ですが、実施設計書との乖離が生じないようにとの配慮から、平成5年7月より土木工事標準歩掛に準拠したものとなっています。土木工事標準歩掛は、随時施工形態の変動への対応及び歩掛の合理化・簡素化の観点からの歩掛の改正・制定が行われており、平成25年度の災害査定用歩掛の主な改正内容は次のとおりです。

## 【主な改正内容の概要】

### (1) 歩掛について

災害査定用設計歩掛が準拠している土木工事標準歩掛（国土交通省）において、平成25年度は「道路除雪工」、「トンネル工（NATM）」、「地すべり防止工」等で一部改定を行うとともに、9工種の標準歩掛を廃止した。

### (2) 建設機械等損料の改正

岩手県・宮城県・福島県における復興事業等での施工状況等を考慮し、「ダンプトラック」等の3機種について、運転1時間当たり損料を3%割増した。

### (3) 施工パッケージ型積算方式

昨年10月に導入している63の施工パッケージ単価について物価変動に伴う標準単価および機労材構成比の改定を行った。また、平成25年10月からは、新たに146の施工パッケージを設定する。なお、災害査定における施工パッケージ型積算の取扱いについては、「平成25年度土木工事標準積算基準書」と合わせ、パッケージ型積算の導入によって廃止された歩掛については、「平成24年度土木工事標準積算基準書」を災害査定設計標準歩掛（同意歩掛）として取扱うことが出来る。

## 【圖書購入申込については、裏面をご利用ください。】

◎（公社）全日本防災協会の会員及び官公庁の方は必要事項をきれいに記入の上、FAXにてお申し込みください。

◎非会員（上記以外の方）は代金前納（郵便振替・銀行振込）です。

※ご送金後「払込受領書」のコピーを必ず申込書に貼付してFAXにてお申し込み下さい。

[送料：協会負担 振込手数料：購入者負担]

|        |               |      |                            |      |                  |
|--------|---------------|------|----------------------------|------|------------------|
| 郵便振替口座 | 00120—5—55729 | 取引銀行 | みずほ銀行 新橋支店<br>普通口座 1412439 | 口座名義 | シャ）ゼンコクボウサイキョウカイ |
|--------|---------------|------|----------------------------|------|------------------|

## 申込及びお問い合わせ先：公益社団法人 全日本防災協会

〒103-0011 東京都中央区本橋大伝馬町3-11 パインランド本橋ビル5F  
http://www.zenkobousai.or.jp/

TEL 03(6661)9730(代)  
FAX 03(6661)9733